

平成30年度推薦入学試験問題

金沢美術工芸大学

学科専攻名	第2次選考
芸術学専攻	<p>小論文A</p> <p>次に掲げる文章は、内田義彦による「聞と聴」（1974年）の抜粋です。これを読んで、内容を200字程度に要約しなさい。 また、筆者の主張に対して、自分の意見を400字程度で述べなさい。</p> <p>小論文B</p> <p>配布された作品の図版を見て、何がどのように描かれているかに留意しながら、800字程度で解説しなさい。 作品名：観音猿鶴図軸（三幅）のうち、猿図 南宋（13世紀）、大徳寺（京都）所蔵</p>
視覚デザイン専攻	<p>実技試験</p> <p>「つながり」をテーマに画面を構成してください。</p>
製品デザイン専攻	<p>実技試験</p> <p>木工工作用のメジャー（3.5m）をデザインしなさい。</p>
環境デザイン専攻	<p>実技試験</p> <p>「季節」をテーマとして、三つの立体A、B、Cを台紙（ゴールデンボード）に配置したのち、画用紙に鉛筆でデッサンしなさい。 立体Aと立体Bは、一辺100mmの立方体を一つの平面で二つに分割したもの、立体Cは任意の立体とする。どの立体も配布された素材で作みなさい。</p>
工芸科	<p>実技試験</p> <p>与えられた「蓮根」をモチーフとし粘土を用いて立体表現しなさい。</p>

※ 第1次選考は書類審査です。

受験番号	
------	--

平成 30 年度
金沢美術工芸大学 美術工芸学部
デザイン科 視覚デザイン専攻
推薦入試 第二次選考問題（実技試験）

【問題】

「つながり」をテーマに
画面を構成してください。

【条件】

- ・別紙に制作意図を記入してください。
- ・与えられた用紙（B4 ボード）の全面を使用してください。
- ・縦横は自由とします。
- ・与えられた画材で着色してください。
- ・与えられた下書き用紙にアイデアを何パターンか展開し、すべて作品に添えて提出してください。

【注意】

- ・色見本帳の使用は禁止します。
- ・持参した絵具の使用は禁止します。
- ・試験問題に関する質問は認めません。
- ・問題用紙、下書き用紙は試験終了後、すべて回収します。

以上

受験番号	
------	--

【制作意図】

(100字)

平成 30年度推薦入試 実技試験

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 デザイン科 製品デザイン専攻

■問題

木工工作用のメジャー(3.5m)をデザインしなさい。

■デザインの条件

1. 木工工作に便利な機能を考えてデザインすること。
2. 工作前と工作後の寸法確認のしやすさを考えること。
3. 使いやすさを考慮するとともに、造形・素材・色を自由に考えること。

■提出物

1. **最終提案の着彩スケッチ** → B3 サイズ1枚
(デザインの特徴が伝わるアングルや状況を描くこと。)
2. **使用方法説明図** → A3 サイズ1枚
(色々な寸法の測り方や便利な機能の使い方の説明)
3. **寸法図** → A3 サイズ1枚
(素材や色の指定)
4. **アイデアスケッチ** → A3 サイズ2枚

以上をスチレンボードにレイアウトすること。

(別紙レイアウト図を参考のこと)

■注意

1. 提示したサンプルは参考とし、とらわれなくてよい。
2. この問題用紙も提出すること。

受験番号

平成 30年度推薦入試 実技試験

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 デザイン科 製品デザイン専攻

■提出作品パネルレイアウト

- ・試験終了 15 分前から作業に取りかかってください。
- ・スケッチの上部 2 箇所を透明テープで貼り付けてください。

受験番号	
B3 用紙 最終提案の着彩スケッチ	
A3 用紙 使用方法説明図	A3 用紙 寸法図
A3 用紙 アイデアスケッチ	A3 用紙 アイデアスケッチ

受験番号： _____

平成 30 年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部デザイン科 環境デザイン専攻

推薦入試 第二次選考問題

【問題】

「季節」をテーマとして、三つの立体 A、B、C を台紙（ゴールデンボード）に配置したのち、画用紙に鉛筆でデッサンしなさい。立体 A と立体 B は、一辺 100mm の立方体を一つの平面で二つに分割したもの、立体 C は任意の立体とする。どの立体も配布された素材で作rinaさい。

【条件】

- ・ 立体は台紙に接着して固定しなさい。
- ・ 立体の面の配色は、配布された素材で自由に設定してよい。
- ・ デッサンはすべてフリーハンドで、描きなさい。

【注意】

- ・ 問題に関する質問には答えられない。
- ・ デッサンは受験番号を書く欄を裏側とし、表側に書きなさい。
- ・ 立体を配置する台紙（ゴールデンボード）は、受験番号を書く欄を裏面とし、表面に固定しなさい。
- ・ この用紙を試験会場から持ち出すことを禁止とする。
試験終了後に回収する。
- ・ 制作により出たゴミは、所定の場所に捨てなさい。

平成 30 年度
金沢美術工芸大学 工芸科 推薦入試
実技試験（立体表現）

平成 29 年 11 月 11 日(土曜日)

午前 8 時 30 分～12 時 30 分

問題

与えられた「蓮根」をモチーフとし

粘土を用いて立体表現しなさい。

条件 1. モチーフの大きさ、制作個数は自由とする。

2. モチーフは自由に加工しても良い。

(切断等を希望する場合は挙手する事。)

3. 解答作品は塑像板から高さ 30 cm 以内とする。

4. 解答作品は塑像板からはみ出さない事。

5. 与えられた粘土は、全部使わなくても良い。

注意 1. 用具は募集要項に指定された持参用具と机上のもの以外使用してはならない。

2. 配布されたヘラは加工してはいけない。

3. 配布されたカッターナイフは鉛筆削り以外の使用をしてはならない。
取扱いについては充分注意する事。

4. 粘土の中に異物を入れてはいけない。

5. モチーフ並びに配布用具は持ち帰らない事。

モチーフ 「蓮根」

配布用具 水粘土 10 Kg、塑像板、粘土ヘラ、霧吹き、鉛筆 3 本、消しゴム、
カッターマット、カッターナイフ、雑巾 2 枚、エスキース用紙 5 枚